



# 紫雲児の心

## 失敗は成功への道しるべ（終業式校長講話より）

校長 五十嵐 めぐみ

学校行事や学習活動が盛りだくさんだった2学期も今日で終わりです。うまくいったことだけでなく失敗もあったと思いますが、中身の濃い学期だったと思います。

先日行われた作品展で生徒の作品を鑑賞していた時、「失敗は成功への道しるべ」という、3年生のある生徒が描いたポスターに目が止まり、「そのとおりだな」と思いました。誰でも失敗することはありますが、失敗にきちんと向き合い、なぜ失敗したのか、どうすれば同じ失敗を繰り返さずに済むかを分析すれば、失敗は成功への道しるべになります。失敗を誰かのせいにしたたり、言い訳したりして、自分の失敗から目を逸らしていたら、失敗は失敗のままで、成功への道しるべにはなりません。

今、3年生は、自分の進路に向き合っています。中学校を卒業したら義務教育は終わり、自分が進む道は自分で決めなければなりません。そして、それを実現させるのも自分です。多くの人が高校進学を目指していますが、高校に入学するためには入試に合格しなければならず、高校入試には中3の内容だけでなく中2や中1で学習した内容、小学校の内容も出題されます。中学校3年生までに身に付けたことが試されるのです。3年生だけでなく1・2年生も、毎日の授業に真剣に取り組み、その時その時にやるべきことをきちんとやっていくことが大切です。「もっと勉強しておけば良かった」と後悔しただけでは何も変わりません。自分の取組を振り返り、できていなかったこと（失敗）に向き合い、分析し、これからどうすれば良いかを考え、実行するのです。それが、自分が望む未来への「道しるべ」になります。

勉強だけでなく、健康に過ごすことも、とても大切です。夜遅くまで受験勉強を頑張っている人も、試験当日に睡眠不足や体調不良で力を発揮できなければ意味がありません。普段から食事や睡眠に気を付け、生活リズムを整え、試験当日に万全の体調で臨めるようにしましょう。入試が行われるのは午前を中心とする昼間の時間帯ですから、夜遅くまで起きている人は早めに朝型に切り替えると良いでしょう。学校の授業も午前を中心に行われますから、夜遅くまで起きていて授業に集中できないと、結果的には自分が困ることになります。一度崩れた生活リズムを立て直すのは大変ですが、それができるのは自分だけです。自分は、将来どんな人になりたいか。そのために、中学校卒業後はどんな進路に進みたいか。そして、その目標を実現するためには、「今」、何を頑張らなければならないのか…。現実を見つめて、将来に目を向けながらじっくり考え、自分で自分の目標を具体的に決め、一つ一つ実行していきましょう。毎日の小さな積み重ねが大事です。

冬休みは楽しいイベントが多く生活リズムが乱れやすい時期ですが、自分の生活は自分でコントロールしてください。家族と一緒に時間を大事に過ごし、心と体のエネルギーを充電して、新たな気持ちで、新しい年の良いスタートを切りましょう。